

2013 年第 2 回 IEEE Fukuoka Section 理事会議事録

日時：2013 年 6 月 15 日(土) 12 時～16 時

場所：九州先端科学技術研究所（九州先端研 ISIT）会議室

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2 丁目 1 番 2 2 号

福岡 SRP センタービル 7 階

<http://www.isit.or.jp/ISIT/access.html>

出席 13 名：福永，窪寺，長原，常田，石塚，中島，伊良皆，二宮，末吉，西山，
山本，末次，牛島

欠席 4 名：松本，笹尾，佐藤，山下

議題：

0. 役員を紹介

一部役員の交代があったため，役員の自己紹介があった。

1. 前回議事録の確認

長原 Secretary より前回議事録の確認が行われた。なお，議事録(案)は福岡支部 HP 上の役員専用ページにアップされ，一定期間で意見を募り，その後議事録として公開する。今回もそれに従ったので読み合わせなどは行わなかった。

2. JC 理事会報告

福永 Chair より 2012 年 12 月 18 日開催の理事会報告があった。JC の役員構成，Chapter Operations Committee 活動計画が報告された。各 Chapter のホームページの更新情報の統計情報が示され，運用状況の説明があった。Chapter の活動を示すために最低でも 3 か月に一度のホームページの更新し，更新日をページ上に明記するよう各 Chapter に要請された。Chapter の Section 参加への移行促進について説明され，各 Chapter に方針を 6 月いっぱい示すように求められた(詳しい議論は議事 3 にて)。会議共催時(財政規模>25000USD 以上の会議)の IEEE への承認手続きと MOU(Memorandum Of Understanding)締結と徹底が要請された。既に参加メ切は過ぎていたが IEEE R10 Student/GOLD/WIE Congress 2013 の紹介があった。1 名の学生が九大からこの会議派遣への応募があったが，Student Branch 会員であるとの条件を満たさなかったために，断ったことが報告された。Student Branch は九州では熊本にしかなく，参加を奨励するためには，この Student Branch 会員である条件がネックになるのではないかという議論があった。

3. Chapter の Section 移行に関して

長原 Secretary より，JC 傘下の Chapter の Section 移行に関する JC 要請に関して説明がなされた。Fukuoka Section の Chapter の大半は Section 所属であるため，直接問題はないが，他の Section の Chapter と統合する場合はこの影響を受ける。CAS, C, AP, PEL に関しては現状を維持(Fukuoka Section 傘下の Chapter として存続)することが報告された。EMB は，Tokyo Section から統合の打診があることが報告された。単独存続または統合に関しての方針を EMB Chapter メンバーで議論し，合意した結果を福永 Chair に報告することになった。

4. 連合大会委員会報告

長原 Secretary より，H24 年度第 4 回連合大会理事会(2013 年 3 月 7 日開催)，H25 年度第 1 回連合大会理事会(2013 年 5 月 24 日開催)に関して議事録の報告があった。

IEEE 関連は、国際セッションとして電磁波・アンテナ、計算機科学・情報技術、フオトニクス の 3 セッションと招待講演 1 件が行われることが報告された。また、例年、九大の有志によりプログラム選定作業が行われているため、専門の異なる担当者が座長やプログラム編成に苦慮している問題が説明された。この解決策として連合大会理事会より各学会にプログラム編成会議当日(7月24日)に対応できる責任者を推薦してほしいとの依頼があった。これに対して IEEE が分担する国際セッション 3 セッションに関して、国際セッションを提案した各 Chapter (AP, C, PHO) が座長選定およびプログラム選定に関して対応するとの合意がなされた。

5. 会計報告

資料に基づき、事務局牛島さんより、2013 年度の予算案および執行情況が報告された。JC への支援金は、長原 Secretary が申請する。

6. 支部活動状況報告

資料に基づき、事務局牛島さんより支部活動状況についての報告があった。現在までに、10 件の講演会開催状況ある。また、電子情報通信学会回路とシステム研究会(CAS)の協賛に関して、自動的に IEEE が協賛することが見直された。当該研究会に今後も協賛の要望があるか確認するとともに、協賛の依頼があった場合は、会議開催後に IEEE への報告を求めることが話し合われた。

7. 福岡支部学生研究奨励賞について

中島 SAC Chair より、学生研究奨励賞についての報告があった。2012 年の実施状況のまとめと、2013 年度の実施予定計画および応募要項の案が確認された。また、対象論文として既発表の論文だけでなく、2013 年 12 月 31 日までの掲載予定の発表においても受け付けることが承認された。応募される論文の定義やページ数についての議論があったが、特に応募要項にて制限をしないことになった。以上の変更を踏まえて、最終の応募要項、および英語バージョンが作成されしだい、中島先生より理事会メンバーに回覧確認される予定である。

8. 福岡支部発表奨励賞について

窪寺 Vice Chair より、発表奨励賞について報告があった。昨年までの受賞者選定は、座長単独で行われており、同点受賞が多く発表者の差が明確でなかったこと、また Conflict of Interest の観点からも単独の審査員での選定は好ましくないという問題が提起された。この問題に対して、窪寺先生より、座長以外に審査員を 2 名以上合計 3 名以上の審査員をもうけたいとの提案があった。この提案に関して理事会で承認され、本年度(H25 年度)の連合大会国際セッションより実施されることとなった。審査員の選定は、座長選定と同様に国際セッションを提案した各 Chapter に福永 Chair から依頼する。

次回は 2014 年 2 月 1 日、ISIT にて開催予定。

以上

(議事録作成 長原一)